



映画

それでも獅子は 旅を続ける

～山本源太夫社中 伊勢大神楽日誌～

を観る + 江戸太神楽実演

神野知恵(かみのちえ)

国立民族学博物館特任助教、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)共同研究員。専門は民族音楽学および民俗芸能研究。2006年に韓国梨花女子大学に交換留学し、全羅北道高敞農楽を学ぶ。2016年、東京藝術大学大学院博士後期課程修了、博士号(音楽学)取得。韓国の民俗芸能「農楽」の研究をはじめとして、家々を廻って演じられる芸能に関心を持つ中で、日本の専門芸能集団「伊勢大神楽」に出会い、フィールドワークを続ける。今回上映される映画の監修者。

鏡味千代(かがみみちよ)

江戸の太神楽師。2007年4月国立劇場第5期太神楽研修生となる。その後ボンボンブラザースの鏡味勇二郎に弟子入り。2011年4月浅草演芸ホールにて寄席デビュー。東日本大震災後の静かな寄席ではあったが、沢山のお客様が足を運んでくれた。その後、寄席では珍しい語学力を生かし、英語で太神楽を上演したり、海外公演に参加したりと、太神楽の可能性を探っている。

<企画・司会進行> 吉田ゆか子(よしだゆかこ)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)准教授。専門は文化人類学。インドネシアのバリ島の芸能や仮面文化を研究している。2020年よりAA研にて共同研究「新型コロナ感染拡大における芸能に関する学際的研究」を立ち上げ、代表をつとめる。

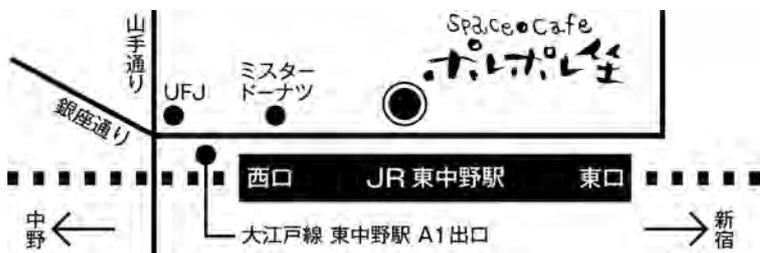
入場無料、ワンドリンク制。現地でドリンクをご購入ください。

定員 60名、要事前申し込み。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/pAuZnJUCL4fEWMXU9> >>>

(申し込みは2月24日まで。ただし定員になり次第締切)

お問い合わせ：field-plus4@tufs.ac.jp(フィールドプラス編集部：浅井)



都営地下鉄大江戸線 東中野駅 A1 出口より 徒歩1分
東京メトロ 東西線 落合駅より 徒歩10分

本イベントの情報の詳細 (AA研基幹研究人類学ウェブサイト) >>>

<https://anthropology.aa-ken.jp/activity/event/daikagura.html>



東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究人類学「社会性人類学的探究：トランスカルチャー状況と寛容/不寛容の機序」『フィールドプラス』編集部
科研費基盤B(21H00643)「コロナ状況」下で育まれる芸能—危機への応答・身体性をめぐる交渉・社会との関係(代表：吉田ゆか子)

[共催]

東京外国語大学フィールドサイエンスcommons(TUFISCO)

『フィールドプラス』編集部